

保育・預かりサービス

保育所、認定こども園など

日中働いていたり、病気などで子どもの養育ができなかったりする家庭の乳幼児を預かります。

問合先 こども未来課保育幼稚園係 ☎ 35-4253

その他の預かりサービス

保育所やファミリー・サポート・センターによる一時預かり、ショートステイ（宿泊を伴う一時預かり）、トワイライトステイ（午後10時までの夜間預かり）のほか、病児保育など、さまざまな取り組みを行っています。詳しくは子育てポータルサイトをご覧ください。

その他の手当・助成

児童手当

高校生年代までの児童を養育している方に支給します。

3歳未満 第1子、第2子 月額1万5,000円
第3子以降 月額3万円

3歳から高校生年代まで

第1子、第2子 月額1万円
第3子以降 月額3万円

子どもの医療費助成

満18歳に達する年の年度末まで、健康保険適用の入院・通院に対する医療費の自己負担はありません。

問合先 こども未来課こども福祉係 ☎ 35-4118

乳幼児期



出産



こども家庭センターが全力サポート！

妊娠・出産・育児



市職員が出演して説明します
1月9日(金)
午後5時40分



妊娠中期



妊娠初期

健やかな成長を見守ろう

各種健診・検査の実施 無料

▶股関節脱臼検査

3・4ヶ月児を対象に、股関節脱臼の早期発見・早期治療を目的に検査を行います。

実施場所 市民健康センター

▶乳幼児健康診査

4~5か月児健診、8~9か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を行います。

実施場所 こども家庭センター

小児科医師、歯科医師、保健師、栄養士、歯科衛生士、心理士、言語聴覚士などの専門職員が、保護者と一緒に子どもの成長や発達を確認し、子育てのサポートをします。

▶フッ素塗布

歯や口、口腔ケアに関心を高めるきっかけの一つとして、1歳6か月児健診で希望者にフッ素塗布を行います。

ここで紹介した以外にも、さまざまな支援を行っています
詳しくは、子育てポータルサイトをご覧ください
子育てポータルサイト



子育ての不安を解消しよう

各種健診・検査費用の助成

▶産婦健康診査受診料の助成

産後2週間と1ヶ月の健診費用を助成します。

助成額 1回につき5,000円

▶新生児聴覚検査費用の助成

赤ちゃんの聴覚の異常を早期に発見するための検査費用を助成します。

助成額 初回検査・確認検査 各3,300円

▶生後1ヶ月児健康診査受診料の助成

医療機関で受診する1ヶ月児健康診査の費用を助成します。

※受診票は、妊婦さん面接（2回目）にお渡します。

助成額 4,000円

乳幼児家庭訪問

生後4ヶ月までに、保健師や助産師が自宅に訪問して、赤ちゃんの発育やお母さんの体調の確認、育児相談、子育てに関する情報提供を行います。

ほっとママ（産後ケア事業）

産後の体調や育児の不安、授乳の悩みなどを相談し、施設や自宅で助産師から一人一人に合ったケアを受けることができます。

費用 デイケア型 500円、訪問型 1,000円

※合わせて3回まで。

※市民税非課税世帯は、同意書提出で無料。



赤ちゃんを迎える準備をしよう

妊婦さん面接（2回目）

▶妊婦健康診査受診票の交付

妊娠中期以降の妊婦健診費用の助成が受けられる受診票をお渡します。

妊婦一般健康診査 8回分

超音波検査 4回分

また、安心して出産・育児ができるよう、話を聞きながら、子育て支援の活用方法などを紹介します。

▶妊婦支援給付金 5万円給付（2回目）

出産予定日の8週前から申請できます。

妊娠または出産したこども一人当たり5万円を給付します。

プレママ教室・パパママ教室 無料

産前、産後の心や体の変化、お産の話のほか、入浴やおむつ交換、抱っこの実習、妊婦疑似体験などを通して赤ちゃんのいる生活をイメージし、子育てを考えるきっかけをつくります。



産前産後ヘルパー 無料

安心して出産を迎え、子育てができるようにヘルパーが最大20回訪問し、家事・育児を支援します。

対象 妊娠届出時からこどもが1歳になるまでの家庭

問合先 こども未来課こども・子育て応援係

☎ 35-5133

母子健康手帳をもらおう

妊婦さん面接（1回目）

▶母子健康手帳の交付

産婦人科で妊娠届出書を受け取り、こども家庭センターに提出してください。保健師や看護師が妊婦さんと面接し、体調や困りごと・不安なことなどの相談に乗りながら、母子健康手帳をお渡しし、妊娠中の過ごし方などを説明します。



▶妊婦健康診査受診票の交付

妊娠中期までの婦健診費用の助成が受けられる受診票をお渡します。

妊婦一般健康診査 6回分

※多胎妊娠の場合は最大5回分の健診費用を追加で助成。

超音波検査 2回分

▶妊婦支援給付金 5万円給付（1回目）

出産育児関連用品の購入や子育て支援サービスの利用などに掛かる負担を軽減するため、妊婦さん面接（1回目）終了後に5万円を給付します。

「妊娠したかな？」と思ったら、まずは、医療機関を受診しましょう
経済的な理由で受診を控えることがない
ように、市民税非課税世帯の方に、
検査費用の一部を助成しています
詳しくは、お問い合わせください



妊娠・出産・育児のこんな悩みはありますか？

- 出産や子育て、自分の体や健康に不安がある
- 赤ちゃんが寝てくれない
- こどもへの具体的な関わり方が分からず
- 離乳食を全然食べてくれない
- こどもの発達に不安がある
- 児童虐待やヤングケアラーなど、近所に心配な家庭がある
- 障がい児の福祉サービスを利用したいけれど、どこに相談していいか分からない
- 地域にどんな子育て支援施設があるのか知りたい



そんな時は…

こども家庭センターが全力でサポートします！

こども家庭センターは、市の子育て支援の拠点として、誰もが気軽に子育て情報を手に入れたり、子育てに関する相談や支援を受けたりすることができる施設です。センターでは、保健師、保育士、社会福祉士、心理士、言語聴覚士、家庭相談員など、専門性を持つスタッフが連携し、日々の子育ての中で感じる不安や悩みに寄り添いながら、解決に向けたサポートを行っています。こどものことばや行動の気掛かり、家庭での関わり方、幼稚園・保育園に関することなど、どんな小さなことでも大丈夫です。一人で抱え込まず、気軽に相談してください。



便利な情報ツールはこれら

子育てポータルサイト

安全安心な出産・子育てができるよう情報面でサポートします！

調べたい内容を簡単に探せるよう『目的から探す』、『年齢から探す』、『キーワードから探す』、などシーン別で情報を掲載しています。

すこやか健康手帳アプリ

市は、北海道大学を中心とした多くの企業・団体による健康づくりプロジェクトである北海道大学COI-NEXTと連携して『すこやか健康手帳』を運用しています。

すこやか健康手帳アプリでできること

- 子どもの成長記録を家族間で共有
- 子ども・子育て情報を取得
- 保健師、管理栄養士、保育士などへの相談
- 予防接種のスケジュール管理など



すこやか健康手帳
ID:@638driqg



こども・子育てひろば“えみふる”で子育て支援事業に参加しよう！

『えみふる』は、親子が気軽に集まり、こどもと遊びながら情報交換や交流をしたり、保健師などに子育ての悩みを相談したりできる場です。



であーる岩見沢3階にあるよ

常設型子育て親子ひろば“ひなたっ子”

常設型の子育て親子ひろばです。こどもと保護者が集まって、みんなで遊んだりおしゃべりしたりしています。いつでも気軽に遊びにきてください。

対象 3歳以下のこどもと保護者

開設日 月～木曜日（祝日を除く）

時間 午前10時から正午

午後1時30分から4時



おしゃべりルーム

ひなたっ子を会場に、妊婦さんや初めて子育てする方とこどもが集まって、スキンシップ遊びをしたり情報交換したりしています。

▶ばぶばぶ

対象 妊娠中から生後8カ月の第1子目の親子

日程 毎月第2・4金曜日 午後1時から2時30分

▶とことこ

対象 9カ月から1歳3カ月の第1子目の親子

日程 毎月第1・3金曜日 午前10時から11時30分

昨年はこんな事業を行いました♪

青空広場

いわみざわ公園に集まって、人形劇やペーパーサートを見たり、しゃぼん玉やボール遊びをしたりして、太陽の下で体を目いっぱい動かしました。



パパといっしょ！

お父さんとこどもでスキンシップ遊びや簡単な工作をしたり、大型絵本を見ながら一緒に体を動かしたり、お母さんのいない状況で親子の絆が深まりました。



リラクゼーション＆リフレッシュヨガ

こどもと離れて、ヨガ体験を楽しみ、身も心もリフレッシュ！子育ての英気を養いました。体験の間こども達は、ボランティアさんと一緒に過ごしました。



イベントの開催情報は、広報いわみざわ、子育てポータルサイトでお知らせします



子育てポータルサイト